

要請番号 (JL31220A04)

募集終了



| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|----|----------|------|------|----|------|-------------------|
| チリ | F201 観光 | | 個別 | 新規 | 2年 | ・ 2020/3 ・ 2021/1 |

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

国際協力庁

2) 配属機関名 (日本語)

サンパブロ市役所

3) 任地 (第10州サンパブロ市) JICA事務所の所在地 (サンチアゴ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 10.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

サンパブロ市はチリ第10州の南部に位置する人口約1万人の町である。産業の中心は農業であり、人口の約45%が先住民であるマプチェ族である。サンパブロ市役所には58名の職員がおり、地域の社会・文化・経済の振興を図り、住民の生活向上、所得向上のための施策を実施している。地域振興課には4名の職員がおり、2018年から地域開発7ヵ年計画が実施中であり、地域経済の振興に特に力を入れている。2019年度の年間予算は約3億2千万円。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

サンパブロ市役所は、今後、日本の一村一品運動を参考にして、地域経済を活性化させたいと考えている。そこで、地域経済活性化のための一つの方法として、マプチェ族による羊毛製品、木製の工芸品、サクランボ、桜の木、梅の木等の地域独自の資源を特定し、一村一品運動を展開する計画である。また、近郊には同市の南約25kmにチリ南部の観光拠点の一つであるオソルノ市が位置し、そこから更に約100km南にはパタゴニア旅行の出発拠点の一つであるプエルトモン市が位置することから、将来的には観光振興も目指している。そこで、日本の一村一品運動を参考にした地域おこしにより、地域経済の活性化を期待して、隊員の要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

地域振興課の同僚とともに次の活動を行う。

- 1.一村一品運動のための資源を調査し、市場分析を行う。
- 2.地域の特産物の販売促進等のマーケティングを行う。
- 3.一村一品運動を参考にして、地域おこしのための計画を作成し、実施する。
- 4..将来的には観光ルートマップを作成する等し、観光振興のためのマーケティングを実施することも期待されている。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

事務用品一式(コンピューター、プリンター、インターネット、コピー)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:財務部部長 50代 女性 経験20年

活動対象者:地域振興課 職員4名、コミュニティ住民

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：同僚、住民への指導

[参考情報]：

- ・市役所等での地域おこし経験
- ・観光業界等のマーケティング経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（地中海性気候） 気温：（0～30℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

ホームステイの可能性あり。